

NO	組	実施日時	会場	講師(敬称略)	案内方法	日程	参加人数	目的・工夫した点・留意点など
1	宇佐	①2023年9月1日(金) 13:30~16:30 ②2024年2月14日(水) 13:30~15:30 ③2024年5月29日(水) 13:30~15:30	①②③四日市別院	①信國 眞一(教務所長) ②③寺本 温(四日市別院輪番)	①②③ハガキ	①通常門徒会に続き教務所長の法話 ②講師による講義(法話)および質疑応答 ③〃	①合計40名(会員29、寺族4、ｽﾀｯﾌ7) ②合計30名(会員20、寺族3、ｽﾀｯﾌ7) ③未定	①組門徒会の役割。九州教区教務所長巡回にあわせて実施。日程的にタイトとなり、課題を残した。 ②真宗についての系統的な学習をとおして、門徒会員としての組各寺院および宇佐組における役割についての学びを深める(第1回目)。系統的に学習を進める計画であったが、門徒会員改選時期にあたり、取り組みが厳しい状況である(参加者が少ない)。テキスト:『真宗の教えと宗門の歩み』 ③真宗についての系統的な学習をとおして、門徒会員としての組各寺院および宇佐組における役割についての学びを深める(第2回目)。テキスト:『真宗の教えと宗門の歩み』
2	豊前中津	①2023年8月21日(月) 14:00~17:00 ②2023年8月31日(木) 14:00~16:00	①ニューいずみ ②正行寺	①寺本 温(四日市別院輪番) ②信國 眞一(教務所長)	①②郵送	①門徒会総会・研修会・懇親会 ②門徒会研修(講師からの法話)修了後、所長巡回(九州教務所事務局より教区の現状や諸課題等の事務連絡)	①20名 ②45名	①2023年度の豊前中津組の事業計画ならびに予算について、門徒会の皆様に説明し、2023年度の事業計画ならびに予算についてご審議をいただくことを目的とする。また四日市別院輪番の寺本先生におこしいただき、ご法話をさせていただき、門徒会の研修もあわせて実施する。コロナ禍が続いていたため、組合併以来、旧3組の門徒会ならびに寺族が一堂に会する機会を設けられなかったが、寺族ならびに門徒会の皆様が色々な方とコミュニケーションをとっていただけるように、懇親会を行い親睦をはかる。 ②はじめに、九州教務所長の信國眞一先生よりご法話をさせていただきました。2022年度事業報告ならびに決算報告、2023年度事業計画ならびに予算審議について、九州教区職員の方より説明をいただきました。
3	京都	2023年10月31日(火) 9:00~16:00	四日市別院	寺本 温(四日市別院輪番)	ハガキ	9:00 バス移動(行橋) 10:30 開会(四日市)・法話 11:40 閉会 12:20 昼食(こがね山荘) 16:00 行橋解散	合計22名 (会員17、寺族5)	初めての試みとして、四日市別院に出かけての研修会を企画し、四日市別院の歴史を学ぶことができ、有意義であった。併せて帰路食事を開催し、親睦を深めたが、もう少し多くの参加が欲しかった。遠方はやはり参加しにくいのが課題を残した。(笹田門徒会長)
4	田川	2024年3月12日(火) 14:00~16:00	香春町町民センター	井上 道昭(組長)	封書	開会-真宗宗歌-自己紹介-テキスト学習-質疑-閉会	合計38名 (会員31、寺族7、ｽﾀｯﾌ5)	3月に新たに選定された門徒会員ですので、初顔合わせの意味も込めて積極的に参加を促しました。前任期中の3年はコロナ禍の為に、対面での会合が難しかったので、門徒会員の意味と役割をテキスト『真宗の教えと宗門の歩み』からポイントを抜粋して30分程度説明しました。どこまで理解していただいたかは疑問が残ります。その要因は何と言っても、会員の高齢化です。75才以上が66名中50名に及びます。各寺の選定が責任役員クラスの方々ですので、自ずと高齢になります。後日開催された組会にて「思いきって目先を変えて40~50代の方を選定されてもいいですよ」と提起いたしました。
5	大分東	2024年4月15日(月) 14:00~16:00	光西寺	小田 朋隆(福岡組正間寺)	封書・はがき・LINE	動行・開会行事・法話・質疑応答・閉会行事	合計60名	新門徒会員の選出があったので、門徒会の基本的な役割と出発点、講師自身の同朋会運動の取り組みや関わり方の原点をお話いただいた。
6	大分別府	①2024年5月2日(木) 13:30~16:30 ②2024年5月8日(水) 13:30~16:30	①法照寺 ②庄内公民館	牛島 達郎(教区駐在教導)	案内状を住職経由で配布	別紙	合計60名 (会員49、寺族11)	・3月に組門徒会員の選定があったので、特に新たに組門徒会員になられた方に、組門徒会の役割を理解してもらうことに留意した。 ・グループ討議をすることで、お寺の現状を共有することに留意した。
7	奥豊後	①2023年10月25日(水) 14:00~16:00 ②2024年3月15日(金)	①光西寺 ②満徳寺	①小代 睦(同朋の会教導) ②緒方 不二磨(組長)	ハガキ	未記入	①合計38名 (会員18、寺族20) ②合計59名 (会員37、寺族22)	①東西本願寺の分裂について解説。パワーポイントを使い、視覚に訴える説明をした。これにより理解が各段に上がった。テーマが興味深い点であることも含めて、参加者は概ね満足していた。 ②新門徒会員選任時に新門徒会員を対象に研修会実施。狙いとしては、新門徒会員にその役割と責任の自覚、および今後の積極的な関与を促した。
8	日田玖珠	2024年3月25日(月) 13:30~16:00	西光寺	東館 紹見(大谷大学教授)	ハガキ	①組門徒会総会13:30~14:10 ②研修会14:15~16:00	合計43名 (会員38、寺族1、ｽﾀｯﾌ7)	組門徒会員の改選にあたり、総会を開催することとなったが、それに併せて研修会を開催した。研修会の内容は7/7の前進座「花こぶし」の日田公演をふまえて「親鸞聖人と恵信尼さま」のテーマでの研修会とした。講師は大谷大学教授の東館紹見師にお願した。
9	福岡	2024年5月13日(月) 13:30~15:45	福岡県教育会館	寺本 温(四日市別院輪番)	案内文を手渡し	講義	合計69名 (会員45、寺族24)	今回の研修会の講話は「組織の存続は念仏相続のためにあり」である。この講話のもと門徒会員が、「何を相続し”何を伝えていかなければならないか”を聞かせていただき、一人ひとりが受け止め確認していくことを目的とする。
10	久留米三井	2023年7月20日(木)	大谷会館	信國 眞一(九州教務所長)	各寺より個別に	13:00~16:00	合計55名 (会員40、寺族12、ｽﾀｯﾌ7)	旧久留米組と旧三井東組の合併により初の門徒会の開催でしたので、あらためて門徒会の使命と役割について所長よりお話をさせていただきました。しかしながら、2024年の3月をもって任期により改選されましたので、2024年3月11日に役員改選を行いました。これから久留米三井組の門徒会として教化の充実に向けて進んでいきたいと思っています。
11	三井西	①2024年3月12日(火) 10:00~12:00 ②2024年6月17日(月) 10:00~12:00	①大谷会館 ②蓮明寺	溝邊 伸、久保山善友	ハガキ	①動行・法話(組門徒会員とは?)・役員決め ②動行・法話・座談・これからの共同教化	合計32名 (会員26、寺族6)	①改選したばかりなので、組門徒会とはどんな組織にあって、どんな願いのもとにつくられたのかを研修。 ②門徒さんが主体となって教化事業を行っていくためのワーク、座談。
12	浮羽	2024年2月19日(月) 13:30~16:30	るり色ふるさと館2階(うきは市)	溝邊 伸(三井西組蓮明寺)	案内文を各会員へ郵送、各寺にはメール等	少子・高齢社会における各寺院の現状および今後の方向性	合計61名 (会員38、寺族20、ｽﾀｯﾌ7)	(1)各寺の運営および門徒教化活動にご協力・ご助言いただく中心となられる門徒会員の方々と、各寺の住職・寺族が、少子高齢社会における各寺院への影響が、これまでと今とこれからではどのように変化していくか、ある程度の共通認識を共有することが目的の一つである。 (2)上記(1)を踏まえたうえで、真宗念仏の教えおよび寺院を、どのようにして維持・相続していくかというところの、有効な取り組みを実施している寺院の現状の活動事例を学習することが、目的の二つ目である。 (3)今後20~30年にわたる当地域の人口減少予想グラフも提示しながら、当地域の各寺を取り巻く環境の厳しさを視野にいれながら、教義および寺院の維持相続の活路をどのように見つけ出していけばよいのか、どういったことに取り組んでいけばよいのか、いくつかの提案ならびに課題の提起を行うことが、目的の3つ目である。 (4)門徒会員の方々と各寺の住職・寺族が(1)~(3)の課題を共有し、これから各寺が工夫しながら取り組む勝算にしていけること、第4の目的である。
13	八女	①2024年2月29日(木) 10:00~15:00 ②2024年5月23日(木) 10:00~15:00	①智願寺 ②正福寺	寺本 温(長崎組真蓮寺)	チラシ	講義10:00 昼食12:00 座談13:00 講義14:00	合計42名 (会員15、寺族12)	テキスト『宗祖親鸞聖人』から証人の生涯を学ぶ。組門徒会員の他、総代・婦人會も共に参加。
14	三潁	2024年4月30日(火) 14:30~16:30	西教寺	渋谷 行成(教区駐在教導)	ハガキ	14:00受付 14:30動行・組長挨拶・役員紹介 15:00法話 16:30閉会	合計91名 (会員74、寺族17、ｽﾀｯﾌ7)	新期の組門徒会員に「組門徒会員の使命と役割」について駐在教導の渋谷行成師に講義をいただいた。
15	山門西	2024年2月26日(月)~28日(水)	同朋会館	同朋会館教導	未記入	2024年2月26日11:00~2月28日15:00	合計7名 (会員4、寺族1、ｽﾀｯﾌ2)	組門徒会員として3年間の任期の総括。山門西組寺院と門徒の在り方、それぞれが感じている問題点(研修への参加人数の少なさ、法義相続等)を確認し、協議した。また、コロナ禍後の法要の取り組み等、意見交換を行った。
16	山門東	①2023年11月6日(月) ②2024年3月25日(月)	①妙光寺 ②正覚寺	吉元 信曉(九短学長)	住職より案内状を会員へ手交	開会・動行・会長・組長挨拶・講義・声明練習・副会長挨拶・閉会	合計60名程 (会員45、寺族15)	当組では、年に2回(3月と11月)門徒会研修を開催している。今期の門徒会は、3年間重点的に『正信偈』について学ぶということが確認されており、九州大谷短期大学より、吉元信曉氏より出講いただき、『真宗の教えと宗門の歩み』をテキストとし、『正信偈』に学んだ。講義後は、組内住職より『正信偈』の声明練習を行った。 コロナ前までは1日研修(10時から15時)で行っていたが、昨今は半日研修としている。そのため座談会等は行っていない。未期は1日研修にするか半日研修にするかは、次期役員と検討。また、本年3月に門徒会の任期が終わったため、本年の6月11日から13日の2泊3日で、本山へ奉仕研修に行く。
17	大牟田三池	①2023年9月28日(木) 14:00~16:00 ②2023年11月16日(木) 14:00~16:00	①萬通寺 ②託随寺	①蓮尾 康行(多福寺) 玉寄 真郷(託随寺) 吉弘 宗茂(願敬寺) ②塚崎 唯道(忍信寺) 小代 齊(蓮華寺) 安部 美恵子(吉祥寺)	案内チラシを組内寺院に配布、または組門徒会員の一部には郵送	14:20~15:00 感話・法話 講師2名 15:20~15:40 感話・法話 講師1名 15:40~16:00 アンケート記入・質疑	①合計58名 (会員39、寺族8、ｽﾀｯﾌ11) ②合計51名 (会員31、寺族9、ｽﾀｯﾌ11)	(目的) 以下の3点の目的のため、組内育成員が順に法話を行う「育成員によるリレー感話・法話」を実施した。 ・所属寺以外の組門徒の前で法話をする機会を設けることで、育成員に経験を積んでもらう。 ・組門徒会員に、組内の寺族の顔と名前を知っていただく。 ・組門徒会員に、法話に親しんでいただく。 (工夫した点) ・いわゆる法話でなく「感話・法話」とすることにより、経験の浅い寺族でも話しやすくなる。 ・一人あたり20分とすることで、聞き手が飽きないようにする。 ・講師にこれまで半生を振り返ってもらう内容にすることで、組門徒会員に身近な話を感じていただく。

18	唐津	2023年11月6日(月) 13:30~16:00	唯法寺	玉井 崇(教区駐在教導)	ハガキ	1 開会 2 真宗宗歌斉唱 3 勤行(正信偈同朋奉讃) 4 門徒会長あいさつ 5 組長あいさつ 6 法話 7 質疑応答 8 恩徳讃斉唱 9 閉会	合計26名 (会員21、寺族5)	・3年間の任期で最後の研修会であったものの、感染症の蔓延によって十分な研修会を行うことができなかった。そこで、新しい教区テーマのもと失われた3年間を取り戻す取り組みの始めとして、テキストである「真宗の教えと宗門の歩み」を新しく担当となられた駐在教導さんにお話をいただいた。 ・2023年度の唐津組門徒会の歩みは、 ①2023年9月7日 第1回門徒会並びに所長巡回 ご法話 信國真一師 ②2023年11月6日 第2回門徒会研修会 ご法話 玉井崇師 ③2024年3月11日 臨時門徒会 ④2024年6月 第3回門徒会研修会(予定)
19	長崎	2023年8月29日(火) 16:00~17:00	出島メッセ長崎	内藤 円亮(宗議会議員)	通常組門徒会の案内に合わせて	通常門徒会閉会後引き続き1時間程度の研修	未記入	コロナ感染症により、ほぼ一切の研修会が開催できなかったことで、組門徒会員の役割についての研修会が実施できていなかったため、(昨年度はリモートにより長崎教務支所と佐世保別院での分散開催)今回の機会を捉えて、一同に宗務組織の中での組門徒会の位置づけを知ってもらうために、宗議会議員の内藤円亮氏に説明等をお願いした。 十分な時間が取れなかったが、出席者に感想文を提出してもらい、次回またブロック(組内3ブロック)毎の研修につなげていければいいのではと思う。 基本的には、各寺の組門徒会員が、自防の教化について門徒の立場から積極的な関わりができるよう住職の配慮が必要であろう。
20	熊本中	2023年8月21日(月) 13:30~17:00	熊本教務支所	大江 則成(九州教務所次長)	寺院及び会員宛 郵送・LINE	研修及び総会 (前年度報告・新年度計画の最終了承含む)	合計40名 (会員30、寺10、スタッフ4)	(他組の取り組み等も参考に) 今年度より、通常組会開催日に巡回予定の教務所長乃至次長を講師とし、テーマ「現代社会における真宗門徒の使命」テキスト「真宗の教えと宗門の歩み」の内容について研修した。 その他、特に今年度は門徒会員改選の年度ということで、上山奉仕研修を実施。2023.10/29~31の2泊3日にて。
21	熊本北	2024年3月9日(土) 15:00~16:30	西宗寺	甲斐 恭平(教区駐在教導)	各寺又門徒会員	15:00開会 15:30講義・質疑 16:30閉会	合計17名 (会員17、寺族6)	門徒会とは何かを新旧門徒会に知ってもらうことを第一目的とした。特に工夫はないが、新旧の門徒会が交わることで、具体的な活動を知る機会になると思ったが、質疑がないまま終了となった。宗務行政と門徒(勿論住職などの寺院生活者も)の接点を意識しないまま、今まで経過している感が大きい。寺離れ、宗教離れ、墓や葬儀など直接肌で感じる中で、あらためて宗門にとって門徒とはという課題に取り組みたいとならない。
22	熊本西							
23	熊本南	2023年9月7日(木) 13:00~15:00	桜十字ホール(八代)	竹下 秀覚(同朋の会教導)	郵送	13:00開会、会長挨拶、講義、質疑、閉会 "釈尊の教と生涯"	合計約33名 (会員25、寺族8)	・仏教の教えがいかに我々の生き方(姿勢)と深くつながっているのかを具体性を持たせながら・・・という点に留意した。 ・講義(語り)を通して、参加者といかに感じ合える場(感応道交)としての形成につとめた。(講師)
24	熊本東	①2023年11月6日(月) 13:30~16:00 ②2024年2月26日(月) 13:30~16:00	①玉岑寺 ②浄行寺	武井 弥弘(九短副学長)	各寺へ郵送	13:30開会、13:50~15:20法話 15:30~16:00会議、16:00閉会	①合計43名 (会員29、寺族10、スタッフ4)	任期中年2回、計6回の研修を同じ講師に各回毎テーマを設定し、門徒会員の関心の深まりを期待する。ちなみに、今年度は(テーマ)第1回を「宗祖親鸞聖人のご生涯」第2回は「真宗門徒の生活―お内仏のお給仕―」とした。
25	鹿児島	2024年3月13日(水) 13:00~14:15	鹿児島別院 大谷会館研修室	甲斐 恭平(教区駐在教導)	組内の寺へ郵送	13時より研修会を実施、研修会後に各ブロック2名×5ブロック=10名で会長・副会長(九州教区へ選出門徒会員と同一)を選出	合計約41名 (会員30、寺族5、スタッフ6)	コロナ禍で開催できなかった組門徒会研修会を開催するにあたり、参加者が少ないのではないかと心配したが、各ブロック代表者2名(10名)は現地で参加していただいた。Zoomでの配信もして大隅ブロックでは10名程度・北薩ブロックでは2名のzoomでの研修参加ができるように各寺の通信環境等を整えていただけるように計画していきたい。 研修会の内容的には、きめ細やかに本山・教区・組と説明していただき、門徒会員として熟知しておかなければならない内容は網羅できた。教えの面も門徒会員に選出されるだけあり、傾倒して聞かれておられる姿に感銘を受けた。
26	宮崎	未実施						

NO	組	名称	新規・継続	趣旨・テーマ	日時・期間	会場	対象	対象人数	講師	テキスト	内容(詳細)	予算
1	宇佐	女性門徒の会研修	未記入	宇佐組女性門徒の会規約を見直し、女性門徒の会の会員を募集し、新しい歩みを始めた。この女性門徒の会を中心として女性聞法会事業を展開。研修のテーマは、宇佐組の研修テーマ「南無阿彌陀仏人と生まれたことの意味をたずねていこう」をテーマとして展開した。	①2023年11月10日(金) ②2024年3月13日(水) ③2024年5月31日(金)	四日市別院	宇佐組女性門徒の会会員、坊守会員、組役員	55名	①藤谷純子(宇佐組勝福寺) ②磯貝泰子(生田流箏曲最高師範) ③山香遼(四日市別院書記)	なし	法話を聴聞するだけの研修会から、積極的な取り組みをめざした学習会をめざした。 ①講師による講義、質疑応答を中心とした学習会を展開 ②箏曲最高師範を講師に「琴の前に座って77年(よくまあ飽きもせず)」の講話、質疑、琴の演奏、琴、尺八の体験など、生活を聞法の場をサブテーマに学習会を展開 ③講師による講義、仏教讃歌の練習を中心とした学習会を展開する予定	未記入
2	豊前中津	豊前中津組女性聞法会	継続	生活を聞法の場に	2024年5月21日(火) 13:30~16:00	四日市別院	女性門徒、坊守、女性住職	各寺3名	寺本 温(四日市別院輪番)	なし	別紙	80,000
3	京都	京都組女性門徒の会総括研修会	継続	一人の門徒の誕生人と生まれたことの意味をたずねていこう	2023年10月17日(火) 13:00~15:45	妙覚寺	女性門徒の会会員、坊守	45名	柳澤 明(舊縁寺)	なし	『どうせ死ぬのになせ生きるのか』の本を読むことから始めた。仏教は私たちが迷いの存在と見ているが、我々はその気に気づいていないという迷いがある。外に原因をもっていこうとする。私がこうなったのも人の	50,000
4	田川	田川組女性門徒の会一日研修会	継続	①「真宗の教えを生きる」 ②「今、大切な人に伝えなければならないこと」	①2023年10月5日(木) 13:30~15:40 ②2024年4月19日(金) 14:00~16:00	①伯林寺 ②田川青少年文化ホール	女性門徒の会会員、坊守	①79名 ②149名	①牧野桂一 ②黒萩昌	なし	第1回2回ともに、特に家庭内での相続、手を合わせてお念仏申すことを要としたご法話を聞き、座談に代わり参加者にはアンケート形式で「お話を聞いて感じたこと、気が付かされたこと等」を記してもらった。第1回はアンケート記入前に質疑応答の時間を設けた。第2回は田川組との共催で「仏教公開講座」として開催。(上記対象以外のご門徒他一般も参加)	222,740 (講師謝礼 111,370×2回)
5	大分東	大分東組女性門徒の会集い	未記入	坊守会や各寺の女性門徒の会の活動を確立し、女性門徒の会立ち上げや、支援につなげる。女性門徒の会実行委員会の活動報告も一緒に行う。	2024年5月29日(水) 14:00~	善教寺	坊守・女性門徒の会・各寺から2名程	約90名	櫻木証(日田玖珠組西岸寺)	なし	未記入	100,000
6	大分別府	一期の会	未記入	「生活を聞法の場に 真宗門徒として」人間はなぜ教えが必要なのか?	①2023年10月31日(火) 13:30~15:00 ②2024年4月30日(火) 13:30~15:00	庄内公民館	坊守、女性門徒の会、その他聞法希望の方	各回約80名	保々眞量(熊本東組光行寺)	講師レジュメ	・年に2回開催となる。 ・願いを満すことと、教えを共に歩むことの違いを、色々なかたちで現わしていただいた。 ・参加者の楽しみにしているとの声を聴きました。 ・これで3回目の実施となるが、とても良いかたちで進んでこられた。 ・年に2回開催を維持していかねばならない。	80,000
7	奥豊後	女性門徒の会聞法学習会・声明講習会	未記入	日常生活の中の真宗(仏法と声明)	聞法学習会:2024.4~5に3回開催 声明講習会:2023.11に各ブロックで開催	組内寺院	全女性門徒(寺族含む)	約1,500人	聞法学習会:陶山法水(大分東組万春寺) 声明講習会:相良義和(光西寺)	なし	聞法学習会:堅苦しくならないよう、日常生活の中の課題を仏法に照らすことを主題に取り組み、聴講者からは概ね良好の反応を得た。 声明講習会:正信偈(同朋奉讃)の基本的な声明を学習した。	240,000
8	日田玖珠	①女性同朋会研修会(玖珠ブロック) ②花みずぎの会(日田ブロック)	未記入	女性寺族と女性門徒が共同し、連携して企画する聞法会	①2024年6月3日(月) 13:30~16:00 ②2024年6月下旬	①明蔵寺 ②未定	坊守・各寺院女性門徒の会会員	未記入	①江林智施(劇団前進座俳優・僧侶) ②未定	未定	演劇『花こぶしー親鸞聖人と恵信尼さまー』の出演俳優の方のお話を拝聴することで、公演への関心度を高めるとともに、内容の理解が深まることを期して開催する。	50,000
9	福岡	女性門徒の会研修会	新規	「宗教と生活~真宗の利益とは~」	2024年5月21日(火) 13:30~15:30	受楽寺	女性門徒の会会員	約40名	伊藤 元(京都組徳蓮寺)	なし	5/21実施	85,000
10	久留米三井	女性門徒の会	継続	①真宗の教えに学ぶ ②真宗の教えに学ぶ(歎異抄をとおして)	①2023年7月24日 ②2024年3月27日	大谷会館	女性門徒・坊守	60名	①大江則成(九州教務所次長) ②青木玲(九短准教授)	なし	年6回の坊守会の学習の歩みの中から、女性門徒の聞法の場が開かれてきたことであります。そこから「歎異抄」をテーマとして学んだことであります。今後継続して「歎異抄」をテキストにするのは決まっています。ただ年2回の開催を3回にして欲しいと要望が出ています。	100,000
11	三井西	坊守・婦人合同研修会	継続	「生活と仏教」をテーマに坊守・婦人会(女性を主に)が共に聞法し語り合う。	2024年6月27日	蓮明寺	坊守・女性門徒	50名	三池真弓(教区坊守会長)	なし	講師が法話。座談会。	50,000
12	浮羽	浮羽組女性門徒研修会	継続	聞法をとおして、生きがいのある人生を尋ねる。	①2023年11月2日(木) ②2024年5月18日(予定)	①光福寺 ②妙福寺	女性門徒および寺族	①45名 ②50名(予定)	①溝邊伸(三井西組蓮明寺) ②草野龍子(久留米三井組真教寺)	オリジナルテキスト	(1)人生において「本当の幸せとは何か」について考えようという問題提起をする。 (2)講師の体験をおしながら、「幸せ」について具体的に考えを追究する。 (3)宗祖の説かれる「救い」と、我々の求める「本当の幸せ」について考えを深め、お念仏の救いがなぜ我々に必要か。換言すれば、救いを求めることの必要性を身近なこととして、生きていくうえで大事なこととして発見できた。	100,000
13	八女	坊守婦人学習会	継続	正信偈に学ぶ	偶数月の第二土曜日14:00~16:00	組内各寺回し	坊守・婦人	30名	同朋の会教導	『正信偈に学ぶ』	正信偈を実際に書きながら正信偈の内容を学ぶ	1人500

NO	組	事業名	実施日時	会場	講師・提言者等	日程	案内方法	対象	参加人数	自己評価(4段階)	目的・工夫した点・留意点など
1	宇佐	宇佐組同期の集い	2023年11月16日(木) 13:30~16:00	四日市別院本堂	鈴木君代 (大谷派僧侶・シンガーソングライター)	講師による法話音楽ライブ、真宗もの知りクイズ大会	採書チラシポスター	住職・代務者・寺族・坊守会員・門徒会員・推進員・女性門徒の会	76名	4満足	宇佐組の同期が一集いに集い、法話音楽ライブ、真宗もの知りクイズの共通体験をとおして、念仏の教えに共に生きていくことを確かめ合う。できるだけ多くの同期の参加をめざした。門信徒に寺を身近なものとして捉えていただく取り組みをめぐり、多くの参加をみることができた。
		育成員研修	①2023年11月16日(木) 18:00~20:00 ②2024年4月22日(月) 13:30~16:00	①組内寺院 ②四日市別院講堂	①組内住職(話題提供) ②牛島達郎(教区駐在教導)	2/27(火) 仏事を考える 4/22(月) 解放研修	案内状	住職 寺族 組教化委員他	①9名 ②14名	4満足	育成員研修の在り方を見直し、対象を住職、寺族を中心としたものから、組教化委員まで拡大し、直面する様々な課題について学習する場を醸成することを目指すものである。第1回目は「仏事を考える」として、葬儀の実際を具体的な事例を中心に見直す場とした。第2回目は「解放研修」は連続した取り組みの第一回として、冊子『「あなたへ」安んずる世をめぐって』の輪読を中心として、差別の実相を学ぶことからはじめた。質疑、討議の時間を十分に取ることをめざし、所期の成果は得られた。しかし、参加者が少ないのは大きな課題である。
		三世代の集い	2024年3月31日(日) 13:30~15:00	四日市別院外廊下	佐藤公代(読み聞かせ) 室長大應(おもちゃインストラクター)	お勤め・絵本読み聞かせ・おもちゃづくり・グッドトイによるテーブルゲーム・個人遊び	案内状	宇佐組の三世代の門信徒(乳幼児から高齢者まで)	幼児・小学生23名、保護者・高齢者17名、スタッフ8名	4満足	三世代の門信徒が荘厳な別院本堂に集まり、お勤め、読み聞かせ、おもちゃづくり(迷路)、グッドトイ(NPO法人芸術とあそび創造協会)による遊びなどを通して多世代交流を図り、念仏の継承の場づくりを目指す。この取り組みは3年前からはじめた「ののきとあそび」の青少年教化プログラムの拡大版として設定したものである。最後に実施したアンケートでは、高い評価の声が多数見られた。 1.お勤め(講師:組長) 2.絵本の読み聞かせ「ピンとつながれ糸電話」、作・絵とくます めぐみ 3.おもちゃの広場 いろいろな世界のおもちゃ(GOOD TOY)で一緒に遊ぼうカプラ、スティッキー、カエルさんジャンプ、バランスゲームなど 4.アクティブゾーン おもちゃづくりに挑戦 「まゆだま」、「迷路」に挑戦 5.テーブルゲーム大会 スティックーズ、さばてんバランス、カエルさんジャンプ
2	豊前中津	育成員研修会	2023年10月31日(火) 14:00~17:00	法覚寺	相馬尚(大分東組浄雲寺)	拝読文の諸作法	郵送	組内育成員	9名	未記入	前年度報恩講の出仕作法について学習したので、今年度は御正報恩講における拝読文についての学習を企画しました。講師は大分東組の相馬尚先生にお願いしました。御文、御俗抄、御伝抄の拝読の諸作法を中心に実践を踏まえて講義をしていただきました。組内育成員の人数に対して、参加者が少なかったため、来年度以降参加方法について検討する必要がありますと考えます。
		解放研修	2023年10月27日(金) 13:30~16:00	明圓寺	講師:一法師本治 (植田公民館館長) 助言:藤村暢 (奥豊後組明尊寺)	真宗宗歌一講師(事件の経緯)一助言者発言一質疑	郵送	住職 坊守 組役職者	30名(男性23、女性7)	未記入	真宗大谷派僧侶による部差別事件で、被害を受けた当事者からの話しを聞き、何が問題でどうすべきであったかを話し合った。この事件を通して改めて主体的な学びを継続していくことが大事であるかを再認識させられた。
		夏休み子ども会	2023年7月30日(日)13:00~7月31日(月)12:00	園林寺	なし	未記入	各寺院へ案内チラシ送付	小学生	26名	4満足	7月19日スタッフ事前会議 スイカ割り、バーベキュー、工作等を楽しんだ。詳細は別紙案内、事前会議、日程をご覧ください。
3	京都	京都組女性門徒の会 行橋小組夏季研修会	2023年7月7日(金) 10:00~12:00	應徳寺	内田祥司(淨光寺)	10:00開会 10:30法話 12:00閉会	各寺より	行橋小組女性門徒 会員	34名+スタッフ3名	4満足	真宗の教えを日常的な言葉で教えていただいた。今私たちが聞かされてもらっていることが、後にもつながっていく。仏法も続いていく。日々の生活の中に教えがあることが、門徒の誕生につながるのではない。(担当委員の感想)
		京都組育成員研修会	2024年3月6日(水)	通善寺	長野一(田川組正法寺)	13:00開会 13:20講義 17:00質疑・閉会	ハガキ	住職 寺族	14名 zoom6名	3やや満足	力のこもった講義で、内容的にも充実している。ただ、参加者が少なく、参加者が偏りがちな気がする。
		京都組同期の会 刈田小組	2024年5月13日(月)	興隆寺	吉田称量(恩高寺)	14:00開会・動行 14:15座談(2班) 15:10お話し 15:30閉会	未記入	小組寺院門信徒	門徒14人、寺関係7人	3やや満足	昨年より先に自由討議をし、できるだけスタッフは答えを言わないように工夫している。おかげで盛り上がりを見せ、参加意欲が芽生えている。ただ長く聞いている人には物足りない面もあるようだ。
4	田川	田川組仏教公開講座	2024年4月19日(金) 14:00~16:00	田川青少年ホール	黒萩昌(北海道教区法誓寺)	入場一開会一講演一閉会	ハガキ	寺族 門徒	230名	3やや満足	田川組では、20年前からこの講座を開催しています。今年度は年に4回(2023/9/9、9/30)(2024/4/19、5/14)計画されています。学びとしては「入門講座」的な位置づけであり、仏教に興味をもっていただき、各寺の法要参画へとつなげたいという願いを持った講座であります。4/19の講座には女性門徒の会と共催で行われ、多くの参加者を得ました。4/19・5/14の講座の参加費(一人500円)は、すべて能登半島へ義援金として充てたのも、今回の特色であります。参加者の高齢化が課題ではありますが、田川組の看板施策として今後も計画していきたいと思っております。
		田川組「意見交換会」	2024年1月16日(火) 13:00~15:30	徳成寺	組教化委員会	開会一各自発言一意見交換一閉会	ハガキ	組内寺族	30名	2やや不満	教化委員会が主催する形で「現在、お寺を運営していくにあたり何が問題なのか」の視点のもと数年前より行われている意見交換会です。今回のテーマは「法要、特に報恩講でのお斎について」<<報恩講時の門徒地区の担当持ち回りについて>>葬儀の後の初七日法要をどのように勤めるか>>などの課題を各々の現状や今後についての率直な意見を交換した。反省として、上記の課題の多くは坊守の意向が大事であることが再確認されたことになった。※この会の参加者は住職・若院がほとんどであり、十分に展開できない感が残った。(住職・若院が参加したら坊守は寺を空けられない現状もある)
		同和部学習会	2024年3月4日(月) 14:00~16:30	法光寺	井上通昭(組長) 同和部員	開会一発題一協議会一閉会	LINE	同和部員 希望者 (共に寺族)	16名	2やや不満	3/4・4/24連続で学習教材「あなたへ」を輪読して、意見を各々発言した。4/24は部員4名が数分程度発題して、意見交換を行った。今回は5/15そして6/6は田川組同和研修会として組内全カ寺に案内をして講師に中西無量氏を迎えて『あなたへ』を通して、総合学習を行う(対象:寺族)。寺族の差別発言に端を発した問題であり、我が身に引き寄せて考えさせられる感があります。ただ、この学習教材に於いて、どのように方向性を見出せば良いのか?になると、見逃せない思いが各自伺えます。
5	大分東	真宗公開講座	2024年2月16日(金) 13:30~16:00	ホルトホール大分	吉元信暁 (九州大谷短期大学教授※当時)	開会行事・講義・質疑応答・補足	はがき	門徒 一般 街行く人	120人	3やや満足	毎回多くの方々にきていただいているが、この講座が各お寺への法座の参加につながって行っているの心配です。
		女性門徒の会	2023年12月7日(木) 14:00~16:00	臼杵市 運照寺・覺照寺 佐伯市 善教寺	女性門徒の会支援実行委員会	動行・開会行事・テーマや課題に沿って、質疑	ハガキ等	各寺 各女性門徒の会・ 坊守	約30人	3やや満足	2024年3月13日・27日にも実施。スタッフ育成や学びの場としても大事である。今後ほかの事業にも関わっていくように展開したい。
		組声明講習会	2023年11月16日(木) 14:00~17:00	善法寺	大場孝史(田川組無量光寺)	開会行事・講義・出仕作法実践・質疑応答	ハガキ・LINE	育成員 法務員等	30名	2やや不満	出仕の作法が慣れない育成員に、儀式習礼の学びを通して、仏相讃嘆・報恩謝徳に思いを馳せる。
6	大分別府	女性聞法会「一期の会」	2023年10月31日(火) 13:30~15:00 2024年4月30日(火) 13:30~15:00	庄内公民館	保々眞重(熊本東組光行寺)	受付13:00 講演13:30~15:00	未記入	坊守 女性門徒の会 希望者	各回約80名	4満足	・年に2回開催となる。 ・願いを満たすことと、教えと共に歩むことの違いを、色々なかたちで現わしていただいた。 ・参加者の楽しみにしているとの声を聴きました。 ・これで3回目の実施となるが、とても良いかたちで進んでくれた。 ・年に2回開催を維持していかなければならない。
		第87回 夏期講習会	2023年7月16日(日) 13:00~18:00 2023年7月17日(月) 9:00~15:30	別府 豊泉荘	延塚知道(田川組昭光寺)	7/16 開講・講義①・攻究・講義②・質疑・入浴・夕食 7/17 講義③・攻究・昼食・講義④・質疑・閉講	案内状	寺族 門徒	27名	4満足	・住職の教学研鑽と親睦を図る事を目的とする。 ・別紙
		大分別府組ブロック別 解放学習会	①大分1ブロック 2024年3月6日(水) ②別府ブロック 2024年3月7日(木) ③大分2・3ブロック 2024年3月8日(金)	①覺圓寺 ②淨願寺 ③随善寺	①藤村暢(教区解推常任) ②中村昌法(教区解推部会長) ③横田亮雄(教区解推会長)	13:30開会 13:45講義 15:00グループ討議 15:45全体協議 16:00閉会	案内状	寺族 門徒	合計55名	3やや満足	・3カ所で開催。別紙参照。 ・年に1回では少ない。継続して学習会を開催することが重要。
7	奥豊後	育成員研修	原則毎月第2土曜日 15:00~17:00(年10回)	組内各寺院	—	原則毎月第2土曜日 15:00~17:00(年10回)	メール・ハガキ	寺族 (坊守・若院など 全寺族)	毎回20~25名	4満足	組が大きくなりこれまでご縁の薄かった方も多く、それぞれが互いを認識し合うことを一つの目的として、原則月1回の組会を開催した。 内容は、①仏事・声明作法研修、②法話研修、③聞法会、④報恩講研修を実施。12月と6月には懇親会も実施。所期の目的である互いが認識し合うことができ、かつそれぞれが研鑽することができた。今後も継続したい。
		真宗入門講座	2024年5月11日(土) 14:00~16:00	満徳寺	組内教導他	葬儀の意義等を説明、その後模擬葬儀	ハガキ	門徒会員 推進員 金門徒	合計57名(門徒34名、寺族23名)	3やや満足	真宗入門講座として、葬儀の意義の説明、模擬葬儀を行って、葬儀についてご門徒さん・寺族ともに改めて確認した。 初めに葬儀の意義等についてスクリーンで小代教導が説明。その後、衣体をつけた教導、齋役が入堂して模擬葬儀を開始。途中それぞれの意味、所作等について解説、焼香作法(大谷派の作法)を確認。
		推進員研修	2023年11月9日 14:00~16:00	満徳寺	甲斐裕治(西休寺)	未記入	ハガキ	推進員	合計30名(会員15名、寺族15名)	2やや不満	推進員が高齢化しており、参加者が減少傾向にある。2024年度は教区指定の同期の会推進講座を実施し、推進員の養成を行う予定。推進員研修会だけの問題ではないが、講師を招いて法話を聴聞するだけの研修会では参加者に魅力的に感じられない感がある。今後の工夫が必要。
8	日田玖珠	「親鸞聖人のご和讃」に 学ぶ	2024年5月11日(土) 14:00~16:20	西光寺	吉元信暁 (九州大谷短期大学学長)	14:00開会・真宗宗歌斉唱 14:10講義Ⅰ 15:20講義Ⅱ 16:00質疑 16:20閉会・恩徳讃斉唱	郵便配送	組門徒会員 推進員 女性門徒の会会員 住職 坊守 寺族	56名(内住職・僧侶9名)	未記入	ご門徒の日々の動行や研修会や法事場で親しまれている和讃に学ぶことから、親鸞聖人のみ教え・心に出遇える場となることを願いとし企画した。
		「葬儀式」に学ぶ (育成員研修)	2024年6月3日(日) 14:00~17:00	西光寺	鬼頭武志(本願部堂衆)	14:00開会・真宗宗歌斉唱 14:20講義Ⅰ 15:30講義Ⅱ 16:30質疑 16:50閉会・恩徳讃斉唱	Eメール発信	住職 坊守 僧侶 寺族	25名程度(予定)	未記入	「葬儀式」はご門徒、あるいは広く門徒外の人々との重要な接点であり、執行者の信仰心がその式次第を通じて、参加者に表出される機会でもある。今回の研修会では「葬儀式」についての実践的な見識を深めていく機会とした。
		解放研修会	2024年2月10日(土) 14:00~17:00	廣圓寺	助言者:牛島達郎 (教区駐在教導)	14:00開会・真宗宗歌斉唱・趣旨説明 14:15学習教材読み合わせ 15:00判別座談 16:50閉会・恩徳讃斉唱	Eメール発信	住職 坊守 僧侶 寺族	14名	未記入	学習教材『「あなたへ」安んずる世をめぐって』を活用しての学習会とし、年度内に2回開催する予定で、その2回の機会にテキストの全文を精読していきたい。座談では、それぞれが抱った個人的感想や疑問をお互いに思慮なく話せるような座談となるよう心がけたい。

9	福岡	是胎陀羅問題研修会	2024年4月17日(水) 13:30~15:40	林成寺	青木玲 (九州大谷短期大学准教授) ほか	90分(休憩あり)の講義の後、質疑	—	福岡組寺族	21名	4満足	目的:観無量寿経に含まれる「是胎陀羅」の言葉を大谷派の歴史の中で日本におけるエタ・非人と喩え差別部落の人々を差別してきた。観無量寿の教えに生きる者が無自覚に行ってきた差別問題をどのように受止め、どのような解決方法を見出しているのか、そして経典に語られる「是胎陀羅」とはいったい何を伝えようとしているのかを考える機縁とする。 留意点:経典読誦をする・しないの解決策でなく、世界全体の社会構造の問題でもあるということに留意していきたい。
		ハラスメント研修会	2024年1月17日(水) 14:00~16:00	オンライン	浜口和也(四国教区誓願寺)	講義・質疑	グループLINE	福岡組寺族	14名	4満足	2022年に三条別院にて職員、列座に対するバウハラが起き、2023年公に発覚、各種雑誌に取り上げられた。今回の件だけでなく、以前から宗門内で起きているハラスメントを未寺の方々はほとんど認知していないのが現状である。今回の課題別研修を機会として宗門内のハラスメントの問題、又その問題に対して宗門の対応と問題点を踏まえてお話を頂き、参加者一人ひとりが本山で起きていることではなく、宗門の一員としての自覚と宗門の未来を考えていくうえで大事な問題として考えていただく機縁とした。
		声明研修会	2024年1月26日(金) 13:30~16:00	浄慶寺	古賀成慶(組長) 藤岡格(山門東組極妙寺)	講義と質疑	組LINE	福岡組寺族	17名	4満足	現在の葬儀事情をどう対応すべきか共通認識を深めるため。葬儀での声明作法を学ぶ。
10	久留米三井	解放運動部門	2023年10月4日(水)	四日市別院	一法師本治 (植田公民館館長) 寺本温 (四日市別院輪番)	11:00~15:30	各寺	寺族・門信徒	74名	3やや満足	2023年9月4日に「真宗大谷派による差別発言事件を通して、過去帳閲覧禁止を考える」をテーマとして、事前学習をし、一日研修を開催しました。この研修を通して、久留米三井組としても解放運動部門での研修を進めていきたいと願っています。
		壮年推進研修会	2024年1月27日(土) 13:00~15:00	光蓮寺	樋口不可思 (八女組浄園寺)	法話・質疑応答	各寺から呼びかけ	門徒会員・推進員	25名	—	三井東ブロックとしては、最後の壮年推進研修会となり、今後久留米三井組として門徒会と共に学習や研修会開催に向けて検討をはじめていく。
11	三井西	育成員移動研修	2024年6月24日(月)~26日(水)	能登教務所ほか	能登教務所の案内	2泊3日	組会	育成員	6名	4満足	能登教務所にルートの提案をいただき、被災・復興の現状をたずねること。土徳のある寺と現状、教化の現状を足を運んで感じること。養護金を直接手渡すこと。
		ポーズカフェ	2024年3月24日(日)9:00~16:00	小都市生涯学習センター	若手の僧侶	準備・マルシェ出店	webチラシ	マルシェの来場者	マルシェ600名程(カフェ40名程)	4満足	小都市の発行委で開催している。「てんとてつながるマルシェ」の中に、組でブースをつくり「寺カフェ」を出店。甘茶、チャイを100円で販売し、希望者には①法話を話す②話を聞く③甘茶を誕生仏にかけるといったことを体験してもらった。老若さまざまな方が来場され、交流が生まれ、お坊さんを身近に感じてもらい、5~6名の方には、浄土真宗や仏教の法話も聞いていただいた。
		解放研修「プリズン・サークル」上映会	2024年5月16日(木)13:30~17:00	小都市文化会館	永田健、上野賢教	13:30開会・あいさつ・上映・トーク	チラシ・web	主に寺族・門徒会員、一般も可	33名	3やや満足	「悪人のすくい」を主眼とする私たち真宗門徒にとって、犯罪を犯した人たちが、人が人を救うことは、宗教的・社会的に最も大切に考えていくべき課題であり、そのことを共有し、記者さんの視点、僧侶兼保護司の視点から、多角的に事実を見て、救いを考える視点に工夫をした。
12	浮羽	仏教講座	2023年10月31日(火)19:00~20:20	光琳寺	渋谷行成(駐在教導)	動行・法話・質疑応答	各寺より案内	各寺の門信徒および寺族	20名	4満足	お念仏の教えに生かされた人生の豊かさについて、先達や講師の体験をもとに、ご安心談をお聞かせいただいた。
		仏教講座	2024年3月16日(土)14:30~16:20	光福寺	玉井崇(駐在教導)	動行・法話・質疑応答	各寺より案内	各寺の門信徒および寺族	30名	4満足	(1)講師の体験をもとに、お念仏の教えをいただく身になっていった経緯についてお聞かせいただいた。 (2)「お念仏の生活ありき」からの話でなく、時に疑いながら、時には否定しながらも、お念仏の教えに出会っていかれた講師自身の物語は、聞きやすく、同時にお念仏の教えが身近なもの、しかし大事なことで、聞くものに響いた。
		お聖教に学ぶ	毎月28日19:30~21:00	光福寺(東ブロック)	佐藤智水(光福寺)	動行・講読	電話連絡	各寺の坊守	5名	4満足	(1)内藤知康「正信偈」をテキストに講読する。(2023年11月28日) (2)『大経』の現代語訳を、「浄土和讃」を参照しながら、講読する。(2024年2月28日~)
		お聖教に学ぶ	毎月10日頃13:30~15:00	各寺院(西ブロック)	倉富道法(安超寺)	動行・講読	LINEで案内	各寺の坊守	6名	4満足	(1)『正信偈』(本山 教研出版)を用いて講読する。
		人権問題研修	毎月第三金曜日19:30~21:00	水分教育集会所	東道成(常行寺)	オリジナルテキストの輪読・座談会	案内状配布	各寺の門信徒	10名程	4満足	(1)機関紙を毎月発行
		社年会	毎月19:30~21:00	各寺院(西ブロック)	各寺住職	動行・講義	各寺に案内	各寺の門信徒	10名程	4満足	(1)『正信偈』(教本)を用いて講読する。
13	八女	育成員研修	2024年5月20日(月)~22日(水)	光善寺	四衛亮(岐阜高山教区不遠寺)	20日13時30分~22日11時	チラシ	組内育成員	20名	3やや満足	2泊3日寝食を共にし、主に大経を学ぶ。2日目は参加者からテーマを出し合い公開学習として広く参加を呼びかけます。
		解放研修	2023年11月1日(水)14:00~16:00	光善寺	同朋の会教導	問題提起14:00~質疑15:00~	チラシ	各部門の代表者	32名	3やや満足	今回はコロナ禍で中止・縮小してきた各寺の法要について今後の法要のあり方について各寺の取り組みについて話し合いを進めた。
		組同朋総会	2023年11月1日(水)13:00~14:00	光善寺	同朋の会教導	今年度の事業説明13:00~質疑13:30~	チラシ	各部門の代表者	32名	3やや満足	今年度の事業計画を説明。各部門(総代、組門徒会員、婦人会等)の代表者から質疑。
14	三瀬	三瀬組坊守・若坊守研修会	2024年4月19日(金)11:00~14:00	大谷会館	正副坊守会長	10:30受付、11:00開会式・動行・自己紹介とカード記入、12:00昼食、12:45グループ座談、14:00閉会式	チラシを配布	前坊守・坊守・若坊守・寺に身を置く方	15名	3やや満足	「三瀬組」という「つながり」をいただく坊守たちが会って話して問いを共有する。
		同朋青年壮年研修会	2024年3月13日(水)19:30~21:00	善教寺	島村宣澄(八女組浄慈寺)	19:30開会・動行、19:45法話・質疑応答、21:00閉会	チラシ	青年壮年と推進員	30名	3やや満足	『宗祖親鸞聖人』をテキストとしてご法話をいただき、親鸞聖人の生涯を学び、一人ひとりが改めて聖人の教えを確かめて、自身の生活を振り返り、私たちのあり方、生き方、現代における問題を明らかにしていく。
		三瀬組育成員研修会	2024年5月13日(月)14:00~16:30	則善寺門徒会館	三島清園(岐阜高山教区真蓮寺)	14時開会・講義(法話の心得)15時法話(講師)~16時半閉会	葉書	組内寺族、正副門徒会長	—	—	僧侶として法話に臨むにあたり、如何様に法話をすればよいかを学ぶ。
15	山門西	寺院研修会(住職研修会)・解放研修会	2024年3月7日(木)14:00~17:00	西覺寺	横田亮雄 (解放運動推進協議会会長) 渋谷行成(駐在教導)	1題旨確認 2「あなたへ」の発刊にあたって 3第1章~第3章を参加者全員で輪読 4意見交流(座談)	組会にて案内	お寺に身を置くすべての人、他組	21名(組内18、組外1、講師1、助言者1)	3やや満足 4満足	・学習教材「あなたへ」~安穏なる世をめざして~を使用し、私たち大谷派の僧侶による差別事件を知り、部落差別問題をはじめ、あらゆる人権問題や解放運動についての正しい認識を組全体で共有し「差別や偏見をなくすための」学習をする。 ・学習の場であるので、個人としての考えや思い、初歩的な疑問を遠慮なく出し合うことを念頭におき、全員参加の主旨で輪読をした。アンケートにも協力いただき、再度また研修会をしてほしいとの意見が多かった。 ・反省として、法務や留守番等があるので、参加方法や時間等の工夫が必要である。
		大衆供養	2023年7月27日(木)13:00~16:00 28日(金)10:00~12:00	多福寺	吉元信曉 (九州大谷短期大学教授兼当時)	(1日目)動行・前講・法話 (2日目)動行・法話	組会で全門徒へチラシ配布	組内全門徒、寺族	2日間合計約70名	3やや満足	・大衆供養は、歴史のある組の大切な法要であり、聞法の場。本年度から一昼夜法要を基本にし、会所の負担を少しでもなくするために、全寺院参加の組主催で御齋なしとした。 ・「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」の事前学習の時に吉元師の法話を2回にわたり、いただいているので、今回の法話もお願いし、深めることができた。これからも大切にしていきたい。 ・夏安居のなごりで暑い時の研修であるために事前準備等で日程・期日等の工夫が今後必要である。
		(組)安居	2024年6月13日(木)13:00~16:00	未定	三明智彰 (前九州大谷短期大学学長)	法話・座談	組内へチラシ等	住職及びお寺に身を置くすべての人々	金寺院	—	—
16	山門東	大衆供養(夏安居)	2023年7月29日(土)~31日(月)	玉琳寺	尾畑文正 (同朋大学名誉教授)	右記載	チラシ手交	組内寺族、門徒、他	3日間合計100名程	3やや満足	(日程)8:00動行・法話 10:30動行・法話 12:30動行※30日は午前7時より晩天講座 当組は例年7月に3日間、大衆供養(夏安居)を行っている。コロナ禍により中止していたお斎も今年から再開された。尾畑文昌氏より出講いただき、「阿闍世の教い」を講題として寺族・門徒が共に学んだ。 本事業は、例年7月下旬に開催しているが、毎年暑くなってきているので、暑さ対策として日程変更も視野に入れて検討する必要がある。
		真宗入門講座	2023年11月26日(日)16:00~19:00	筑後船小屋「公園の宿」	山門東組若院会	16:00開会・動行・組長挨拶・入門クイズ 17:00親睦会 19:00閉会	はがき	誕生850年・立教開宗800年慶讃法要上山参加者	39名+スタッフ10名	3やや満足	2023年4月に厳修された「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」に参加された方のフォローアップ事業として真宗入門講座を行った。 旅館の宴会場にて、山門東組の若院を中心とした、クイズ劇(寸劇)をおとして、聖人の生涯や、本山の歴史について学んだ。 その後親睦会において、上山の思い出を参加者で振り返った。
		育成員研修	2023年11月30日(木)13:30~15:30	正覚寺	瓜生崇(京都教区玄照寺)	動行・組長挨拶・法話・閉会	チラシ手交	組内育成員、他	45名	3やや満足	当組近辺の市民センター等で「親鸞会」の講座が開かれているということに耳にする。また、講座に行かれた方にお話を伺うと「非常に良かった」という返答をされる。そのような状況下において、2023年度の育成員研修は、瓜生崇氏に出講いただき、氏の実体験をおとして「親鸞会」とはどのような教団なのかという事を学ぶと同時に、「現代を生きる人間の宗教心がどのような形をとって表れているのか、そして何を求め、どのようなことを課題としているのか」ということについて学んだ。 また山門西組・本派住職からも数名参加いただいた。
17	大牟田三池	仏教に聞く会	2023年10月26日(木) 2024年5月21日(火)※予定 14:00~16:00	大牟田文化会館3F第1.2研修室	島 潤二(山門西組に業寺)	14:00~15:00講義 15:15~15:45講義 ~16:00質疑	葉書・チラシ	一般	10/26:59名 5/21:—	3やや満足	(目的) 大牟田三池組の門徒にとどまらない、広く一般の方を対象とした仏教聴聞の機会を設ける。 (留意点) 講師の意向もあり、初めて仏教を聞くような方を対象とした入門講座とした。
		お寺DEあそび~	2024年6月23日(日)※予定 15:00~17:30	光園寺	くぼっち(マジシャン) 念珠作りの先生	サイエンスマジックショー&お念珠作り	チラシ配布	青少年および保護者	50名程度(予定)	3やや満足	「お寺」に縁遠くなっている子ども、そしてそのご家族を対象に「お寺」という場所で、家族の時間を過ごしていただく。
		『浄土論註』研修会	2023年9月12日(火) 2023年11月15日(水) 2024年1月16日(火) 2024年4月22日(月) 14:30~17:00	明正寺、願敬寺	大江肇成(豊前中津組親定寺)	9/12「主功德」 11/15「不慮作住持功德」 1/16「菩薩四種莊嚴功德」 4/22「不動遍至功德」	葉書	寺族	9/12:16名 11/15:15名 1/16:17名 4/22:21名	4満足	(目的)『教行信証』に多く引文されている『浄土論註』をたずねること、宗祖の本願を聞き直していく。 (留意点)「宗祖としての親鸞聖人に会う」をテーマとして、寺に身を置き法話を聞くということに改めて問い直し、また問思する姿勢を持ち続ける。

18	唐津	推進員のつどい	2023年11月20日(月) 16:00~18:00	唯法寺	深草誓弥(長崎組福浄寺)	開会(動行) 正信偈現代語訳素読・法話・座談・閉会	ハガキ	推進員・寺族・その他希望者	推進員13・寺族7・その他1	4満足	毎回企画会を開催し、次の計画を行っている。基本的には自主的な学びの場を大事にしたいの思いから、企画会は各寺の推進員の代表者で話し合い、寺族が助言をするかたちをとっている。 推進員のつどいでは、毎回アンケートをとっているが、企画会では前回のアンケート結果を踏まえながら、自分たちがどのようなことをどのようなかたちで学びたいのかを話し合せて次回の企画を行っている。 今回は前年度から引き続き、葬儀や法事などのありかたや、意義についてお話しいただき、前回のアンケートで希望があった、コロナで中止していた座談会を行った。 基本的には土曜日に開催していたが、講師の都合で平日開催になり参加人数が若干少なかった感がある。 できる限り自主的な学びの場を続けたい。
		唐津組女性研修会	①2023年10月30日(月) 13:30~16:30 ②2024年4月23日(火)	①唯法寺 ②賢勝寺	①甲斐恭平(駐在教導) ②中島航(九州大谷短大)	開会、動行、ご法話、休憩、まとめのご法話、質疑応答、閉会	ハガキ	各寺坊主、女性門徒の会会員	32名	4満足	・感染症が完全に収束しないために、午後からの開催としている。以前は10時開会、動行後10時半からご法話、昼食をとって午後から座談、まとめのご法話という流れであったが、午後からのみの開催となり少し寂しい気がする。 ・法話の内容については、テーマをお知らせして御講師にお任せしている。 ・世代交代が進んでいない。若い女性にどうしたら参加してもらえらるか検討していきたい。
		声明講習会	①2023年9月1日(金) 19:00~21:00 ②2023年11月20日(月) ③2024年2月16日(金) ④2024年5月17日(金) 予定	①高德寺 ②長嚴寺 ③中止 ④櫻瑞寺	中島元信(三瀬組長壽寺)	開会、動行(正信偈)、実技講習、恩徳講、閉会 ①伽陀 調声 ②伽陀 報恩講御文 御俗抄 ③伽陀 御俗抄 文類偈	ハガキ	各寺住職、寺族	各回毎に10~16名	4満足	毎回、伽陀の調声・発声と報恩講動行の研鑽を重ねた。組としての動行発声の統一性と各自の向上を目指して、今後も御講師の指導を仰ぎつつ継続的に学んでいきたい。
19	長崎	仏教教化事業	随時	福浄寺 西教寺	組内住職(会所)	法話・座談・現地視察・レクリエーション・WEB配信	チラシ	18歳~40代の門徒子弟	毎回30名前後	3やや満足	児童教化と壮年・婦人教化の狭間にある青年・若壮年の男女を対象に、聞法場を提供し寺院の敷居を低くするために行うものであるが、2人の努力に各寺の参加者募集努力が不足しているように思う。今後の継続を支える必要がある。
		推進員聞法会	随時	各寺	組内住職・推進講座講師	法話・座談	文書	推進員 入門講座受講修了者	毎回10名前後	2やや不満	各寺推進員の連繋や、各寺の聞法会への参加奨励に繋がっていくような教化事業と位置づけ、できるだけ小グループ開催とし随時的に行うようにした。 一部地域は、寺の法要に入門講座講師を招いてそこへ修了者が参詣するという形をとった。
		非核非戦学習会	毎月9日16:00~18:00	長崎教務支所・善教寺	随時	16:00~18:00(自由討議・輪読・視聴)	LINE	愚願洞メンバー中心の寺族及び門徒	毎回10名前後	2やや不満	「核非戦」について、その言葉の意味するところを共通理解とし、全宗門の課題として提言できるように議論を重ねることを目的とした。 まず、これまでの長崎の歩みを振り返る意味で、非核非戦・靖国問題部会現地学習会報告を輪読、その後「全ての戦争は自衛から始まる」森達也著を輪読し、自由に各自の感想を出し合い議論している。3月は日にちを11日に変更して、映画「ハンナ・アーレント」を視聴した。 非核非戦の願いにおいて、人間の闇をどう表現することが現実社会への実効ある批判になるのか様々な社会問題の根にあるものを露わにすることが必要である。
20	熊本中	熊本中組報恩講	2024年2月28日(水) 13:00~16:30	浄勝寺	伊藤元(京都組徳蓮寺)	法要(伽陀<登下高座>焼香・表白・正信偈<真四区目下>)・法話	ポスター・チラシ配布ほか	組内全寺全役職者を主に九州教区内全寺院・一般	50名	3やや満足	組内各団体の教化の集大成として、初の試みとして開催。前年度から入念な計画を講じ周到に努めたが、組執行部主導で行い過ぎた為、各団体の執行部との温度差が生じ、参拝はあったもののお客さんの感覚での出席が目立った。
		熊本地震追弔法要	2024年4月14日(日) 14:00~16:00	東本願寺熊本会館	講師:藤原敬(珠洲焼遊戯家代表) 感話:牧野哲也(真宗寺門徒)	動行(参拝者全員焼香)・法話・感話	組内は郵送	住職・寺族・門徒・一般	54名	3やや満足	熊本会館の主たる事業ではあるが、組としては、一番被害に遭ったエリアを有する組として追弔して行く場を設けることを目的とする。 世間一般で言うところの「追弔」するということと、私たちの言うところの「追弔」するという意味合いを今後も丁寧に伝えながら継続していきたい。
		慈光会学習会	2023/9/11/4.2024/5/19の3回 時間は3回とも13:30~16:30	東本願寺熊本会館	青木玲(九州大谷短期大学准教授)	開会・動行・挨拶・法話・質疑応答・閉会(親睦会)	郵送・LINE	同朋の会推進員を中心に組内住職・寺族・門徒	30名	4満足	一昨年、新たに推進員に加わった方は未だお仕事を待ちの方が多く、開催曜日は土・日曜になるよう配慮しているが・・・そうすると寺族の出席が少なくなる。
21	熊本北	真宗と生活一日常に潜む差別一	2024年2月13日(火) 13:00~16:00	檀林寺	福高龍徳(熊本東組玄徳寺)	13:00開会、13:15講義・質疑、16:00閉会	寺から参加予定者、新規参加者へ	門徒・役職者・住職	25名	3やや満足	・正面から差別を語るのではなく、日常的に何気ない言動に潜んでいる差別=自分の色めがねで判断し、そのことに疑いをもたない心に気づく。 ・同じ講師による複数回の出講で参加者に連続した研修として講義に統一感を持ってもらう。
		真宗生活講座	2024年4月25日(木) 13:30~16:30	組内寺院巡回(善行寺)	福高龍徳(熊本東組玄徳寺)	13:00開会、13:45開講、16:30質疑	寺院参加者、住職・坊主・門徒会・推進員ほか	門徒会・推進員・坊主・住職・その他有縁の人	20名~30名	3やや満足	・生活と教法が離れてあるのではない事を学んでいく ・親鸞聖人の生涯を通して上記のテーマを講師に語っていただく。
		大分での過夜での差別発言について	2023年11月17日(金) 15:00~17:00	念名寺	横田亮雄(解放運動推進協議会会長)	15:00開会、15:15講義・質疑、17:00閉会	寺院への案内状	住職・坊主・有縁の方	11名	3やや満足	・過夜での差別発言の内容を知り、どこに差別が根差しているかを知る。 ・2024年3月12日にも、同講師で発行された冊子をテキストに学習を行った。
22	熊本西	夏のつどい	2023年7月23日(日)~25日(火)	善明寺	組内スタッフ	7/23(日) 13:00受付、14:00開会式・オリエンテーション、15:30お夕事、16:00夕ごはん(カレー)、19:00入浴、21:00花火・就寝 7/24(月) 6:00起床・ラジオ体操、7:00おあさじ・掃除・ごはん(ごはん・味噌汁)、10:00野外活動、12:00ごはん(そうめん流し)・自由時間、15:00かき氷、16:00お夕事・ごはん(バーベキュー)、19:00入浴・汗拭き・読み聞かせ、22:00就寝 7/25(火) 6:00起床・ラジオ体操、7:00おあさじ・そうじ・ごはん(ごはん・味噌汁)、自由時間、12:00ごはん(ホットドッグ)、13:00そうじ・片づけ、14:00閉会式	直接声掛け、SNS等	有縁の小学生	48名	4満足	お寺という場に集い、集団活動を通して人を思いやる心に触れる。また、日程中はお勤め、法話の時間を設け仏縁を得る機会とした。OB・OGの中学生、大人にスタッフとして関わってもらった。夏の開催、野外活動もあり、こども達の体調管理に気を使った。
		春のつどいワークショップ	2024年6月16日(日) 14:00~17:00	東本願寺熊本会館	組内スタッフ	受付-開会-せっけん作り・おやつ・動画(法話)-感話・閉会	各寺直接声掛け	有縁の小学生	27名	4満足	コロナ禍で延期になっていた事業、会館(お寺)に集い、お勤め(正信偈)法話に触れる。今回は宝石せっけん作りワークショップ、屋内での活動だが、熱中症対策、水分補給を心がけた。
		育成員研修会	2023年10月18日(火)	東本願寺熊本会館	麻生孝祥(熊本東組玉岑寺)	声明講習、質疑	郵送・SNS	組内僧侶	13名	4満足	新選定和讃を中心に声明を学ぶ。また、2024年2月14日(水)に衣体講習会を実施。講師は麻生孝祥氏、第一種服装の着脱、作法を学ぶ。会場は熊本会館。 2023年9月11日(月) 光照寺 参加者10名 2023年11月14日(火) 塔福寺 参加者6名 2024年3月12日(火) 浄照寺 参加者6名 2024年4月24日(木) 宗覚寺 参加者3名 2024年6月4日(火) 教永寺 参加者6名 各寺を回りながら竹中智秀著『浄土真宗の葬儀』を輪読・座談。
		熊本西組解放運動推進協議会 公開講座	2024年5月10日(金)	光蓮寺	中島航(九州大谷短期大学)	動行、講話、質疑	郵送	組内、有縁の方々	24名	4満足	テーマ「今一度聞かなければ解放運動をおこなうのか?」。ワークショップ、講義を通して内容を深めた。講義の中で差別の構造について言及があり、「われわれ化」が壁をつくり、差別をつくる。聖人のいう「われら」は私たちが考えている「われら」からの解放を言っているのではないかと指摘があった。今後、受講者それぞれが自らの課題としていくことができるのかという課題。
23	熊本南	解放推進学習会	2024年6月3日(月)	正本寺	渋谷行成(駐在教導)	午後2時より午後6時	—	住職・坊主・寺族	20名	3やや満足	テキストを何にするのか、またどういう方法でするのか、毎年行うのか、年に何回行うのか。
		組声明講習会	2023年6月7日(金)	正本寺	竹下秀堂(正念寺)	午後2時より午後5時	—	住職・坊主・寺族	22名	—	会所、時間、日程等の決定。
		同朋大会	2024年4月10日(水)	八代市ホワイトプレス	菊池政和(熊本東組江善寺)	午後2時より午後5時	—	住職・坊主・寺族・門徒	80名	—	講師の選定、会費、および交通手段等、場所の選定。
24	熊本東	推進員連絡協議会一泊研修	2024年4月4日(木) 11:50~5日(金) 14:00	九州教務所	信國眞一(教務所長)	4月4日 15:00~開法会 19:00~懇親会 4月5日 遠野観光	各寺文書案内	推進員 寺族	24名	3やや満足	推進員の聞法と懇親目的で当初は40名の予定でしたが、集まりませんでした。ただ参加者からは来年も続けてほしいとのことで、懇親の目的は果たされたので、今後役員の成り手がいないのが問題ですので、このような会で見つけたいです。
		ブロック別女性門徒の会 聞法会	①2023年10月16日(月) ②2023年10月17日(火) ③2023年10月25日(水) 13:20~15:10	①玉岑寺 ②長賢寺 ③光西寺	上村公志郎(光林寺)	13:20~13:50開会 14:00~15:00法話 15:00~閉会	各寺へ郵送	組内女性門徒	①15名 ②27名 ③14名	3やや満足	・ブロック毎に開催することで、より多くの方に仏縁を結んでいただくようにしている。 ・なるべく若い方々にもお声がけをしていただく。 ・参加しやすいよう短時間の日程にしている。
		青壮年のつどい	①2023年11月11日(土) ②2024年2月24日(土) 19:00~22:00	①了蓮寺 ②光林寺	①福高龍徳・上村公志郎 ②菊池政和・泉翔士	19:00開会・おつとめ 19:30~20:30ミニ法話(二人) 20:30~22:00懇親会	各寺へ郵送	組内青壮年門徒	①20名 ②35名	3やや満足	普段なかなかお寺に来ていただけない若い門徒の方が参加しやすいように以下のことに留意した。 ・週末の夜に開催 ・聞法に慣れていない方のために、法話を2名、各15分~20分ずつに設定。 ・懇親の場を設けた。

25	鹿児島	育成員学習会 (鹿児島組公開講座)	2024年4月22日(月) 14:30~ 17:00	鹿児島別院大谷会館 ホール	近松 誉 (定業兼本願部長)	講義・質疑応答	組内各寺郵送 九州教区LINE	どなたでも参加可 能	42名	4満足	コロナ禍で研修会・学習会も開催できずだったので、思い切って育成員学習会と称して、「どなたでも参加可能」として、鹿児島組教化委員会主催「鹿児島組公開講演会」を開催するにあたり、組教化委員会で承認をしていただき、参加者数確保のため「組坊守会・組女性門徒の会・組推進員連絡協議会・組解放運動推進協議会の各団体には5人の動員をかせいでいただいた。各団体にお願いしては、5人以上の参加があり、鹿児島組講演会としては異例の42人の参加者で開催できたことは感涙であった。近松誉定業兼本願部長には、昨年より京都にお伺いして、快諾をいただいたことは大変ありがたいことであった。内容も京都本山まで遠い鹿児島の地にあって、京都本山を身近に感じられるようになった。また「儀式と教えがやっと一つに結びついた」との参加者の有難い声が聞こえて感無量であった。薩摩開教から148年目にして方向性が定まったような気がして講演会を開催することができて大変良かったと思う。鹿児島組は5ブロックで構成されているが、合併の合意事項として各ブロックに御依頼の運付助成金は全て戻している、組本部自体は積み立てをくずしている状態である。現在、組費を徴収はしないで、講師の旅費・謝礼の捻出等、苦慮した。また、来年度も開催できたらと思う。
		鹿児島組同朋総会	2023年10月23日(月) 14:00~ 16:30	鹿児島別院大谷会館 ホール	—	14時から約2時間の会議	郵送	各ブロック副組 長・教化委員会メ ンバー・各諸団体 役職者	22名+甲斐駐在教導	4満足	組会・門徒会にてコロナ禍で出来なかった研修会・学習会を開催して学びを深めたいとの意見をいただき、鹿児島組として何が出来るかを話し合った。各諸団体の計画を聞かせていただく和総会・研修会・学習会をコロナ前と同じように計画して下さっていることに安堵した。鹿児島組としても「九州教区秋安居・公開講演会」などの準備を力を入れて開催していくことで合意した。問題としては、鹿児島支所の職員さんがなかなか見つからないので、各団体の事務・郵送物等は、各団体が工夫していただき、運営に支障が出ないようにお願いをした。鹿児島組の副組長5人は、それぞれのブロック運営があるので、鹿児島組本部と事務・郵送物は組長がしなければならず、約73寺に郵送するもの一苦勞であり、電子メールやLINEなどのネット構築も試みたが、半分以上が郵送してはしくなっているため、依頼できるのは、大ホールの音響等ぐらいである。組の事業活性化には事務局は不可欠であり、次の組長が負担が大きくならないように次年度は新たな模索をしていかなければならないと痛感する。2024年度は、鹿児島別院に協力を仰ぎながら進めて行く予定である。
		鹿児島組寺族の集い 声明講習会と座談会	2023年9月5日(火) 16:00~ 18:00	鹿児島別院本堂	友清 覚心 (興照寺)	声明講習会 どうする今後の鹿児島組? 座談会	LINE共有 各ブロック内郵送	組内寺院関係者誰 でも	25名	3やや満足	距離や時間、人員の問題もあり旧組の教化活動に頼り、教化活動が出来なかった鹿児島組。一部の若手僧侶から、地域社会と同様にお寺同士の交流も途絶えそうなか、今後どうして行きたいか? 世代を超えて集まりたいとの声を受けて、意見交換と交流から再スタートを目的に開催。抽出された意見を土台にして、鹿児島別院教化事業の声明会やその他講習への参加を促し、僧分としての研鑽とともに、組と別院との共創教化事業も視野へ入れている。2024年度も引き続き開催する。
26	宮崎	声明講習 子ども会	—	願成寺 光明寺	鹿児島准堂衆 —	— 2023年10月	— SNSなど	組内寺族 鹿児島 宮崎	— —	— —	日程が合わず未開催。 鹿児島別院子ども会の都合により中止。